試験対策講座で真剣に課題に取り組む受講生

ている」と述べた。

導していただいた。先生 は、他学科の先生にも指

方の熱心な指導に感謝し

RIZE」を受賞した。

らこそ、素晴らしい 強い意志があったか 的に取り組む姿勢や

水野教授は「自主

成果を残せたのだと

思う」とねぎらい、

ŠÝ, SECOZD

最優秀の2チームに は初出場ながら健闘

人学院生までを対象 に

[CAN' 20は高校生から

に国際大会で、各チー

来年の大会を見据え

現システムの完成度

「世界一を目指して

験に向けた面接対策など 教育法規や専門科目、試 英語力を伸ばしてきた。

COND

勝ち抜いた強豪15チーム 界大会には各国の予選を ンラインで出場した。世

が参加。「ROGERI

PRI

27~30日に中国・青島で RIO」 チームが、10月

専門学校)は、理工学部 4・秋田県秋田工業高等

の水野純教授の指導のも

催された世界大会にオ

と、自動車のスリップ事

と。その意味でも今回の

だった」と充実感を 経験は非常に有意義

にじませた。

に立つモノ作りをするこ

ンジニアになり、人の役

人会で優勝した本学ロボ

国際ナノ・アプリケ ションコンテスト

性などを競う。

研究会代表の今野優さ

自性や社会における有用

| 故を防ぐ「路面状況検出

初めての稲刈りに取り組む木村さん

システム」を開発した。

システムを考案し、英

ト研究会の「ROGE

高)と佐藤諒さん(理工 ん(理工3・宮城県利府

ンもこなした今野さんは 語でのプレゼンテーショ

「将来の夢はシステムエ

保育士・教員養成センタ

合格者のうち7人は、

主催の教員採用試験対

衆講座を受講。人間教育

次から同講座に出席し、

小学校教諭という夢をか

今野さん、

ションを提案し、

画面はロボ研チー

ムの提案概要

い」と語った。

オンラインで行われた世界大会。

を世界に発信し

に使われる小型センサ ジカメの手ぶれ防止など がMEMSデバイス(デ

-) を用いたアプリケー

入賞を喜ぶ左から水野教授:

2020年度教員採用試験

【理工学研究科】

いが合格

悛高)▽渡邊琳(宮城県 **白川真澄(宮城県仙台三** 〈暉 (宮城県東陵高) (理工学部) 人間学部 台育英学園高)▽菅原

良大(宮城県石巻好文館 学園高)▽寺嶋敬汰(宮 専修大学玉名高)▽千葉 高)▽前村拓弥(熊本県 沙(宮城県石巻好文館 城県仙台東高)▽小指有 佐藤健士郎 (山口県高川 古川さん、渡邊さんら中

木村光平(宮城県石巻工 生物科学科の菅原さん |の試験に合格した。 「同 の一つ。理科の魅力や楽 に励み、中学校(理科) 目指す仲間とともに勉学 じ目標を持った仲間とと 学べたことが合格の要因 もに、高い意識を持って しさを伝えられる教員に

なりたい」と話した。 んは、目標だった中学校 人間文化学科の寺嶋さ

業高)

渡辺正芳准教授によ

8月

た。「4年間努力を続け

(英語) の試験に合格し

なれる教員を目指した 関係を築き、心の支えに い」と将来像を語った。

学校・高校の理科教員を

本番さながらの雰囲気で行われた模擬面接

((、大学院生は1年次)。

、敬称略。 学部生は4年

格した。氏名は次の通り

研究科1人の計9人が合 字部5人、大学院理工学



善行して、 子どもたち いたので、 ぶ。勉強と とてもうれ 合格できて 思い続けて いとずっと 員になりた なえた。「教 しい」と喜 松隆学長)は10月19日、

援のボランティアに携わ っており、「児童と信頼 の学習支援 · 居場所支 (左) と村松学長 協定書を交わす尾池学長

広報係 ●986-8580 宮城県石巻市 南境新水戸1番地

石巻専修大学







城教育大学(仙台市、村

https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki.

今年度の教員採用試験

理工学部3人、人間

学長)と国立大学法人宮

石巻専修大学(尾池守

った。

近年、教育現場ではよ

関する協定の締結式を行



部)を受賞した。 教=写真=が、第37回日 本物流学会賞(論文等の 本物流学会全国大会で日

ンセンティブ助成に関す 文「地方コンテナ港のイ 者として執筆した共著論

職大学院で実践的指導力 を高め、地域や社会に貢 献することを目指す。

日本物流学会賞 経営・渡邊助教

に参加

する経営・杉田博ゼミの

った」と話した。

化プロジェクト」に参加

とができ、いい勉強にな

►の一つ「こめぼこ商品

高大産連携プロジェク

た。こめぼこができるま

での苦労の一端を知るこ

受賞したのは、第一著 経営学部の渡邊壽大助

稲刈り

の稲刈りに参加した。 学生が、石巻北高校農場

宮城教育大と協定締結 |教職大学院の特別入試に | り高度な専門性と豊かな | 人間性を備えた教員が求 の学生が宮城教育大学教 通じて、教職を志す本学 められている。本協定を る分析」

地方コンテナ港でコン 一影響などを、データ

に精進したい」と語った。

テナ貨物取扱量に与える | るよう、今後も研究活動 を整理したうえで、 主を開拓するために ブ(奨励金)助成の されているインセン

の金額や条件が外貿コン | も貿易の現場に貢献でき テナ貨物の獲得や新 ノティー づき検証した。

助成一大な協力を得た。少しで 特徴 | 実務に携わる方々から多 | となる。今回は吉田直弥 は「論文執筆にあたり、 受賞を受けて渡邊助教

から田植えや稲刈りに協

さん、木村凌真さん、三 |営3・宮城県石巻商業 | 浦大典さん(いずれも経 の一部が加工されて商品 力しており、収穫した米 高)が参加。吉田さんは 初めて稲刈りを経験し



「2020石鳳祭」が10月11日に行われた=写真。非対面授業 が続き、友達づくりに不安を抱える1年次生のために、 は参加者同士がオンラインで交流しながら親睦を深められる 企画を用意。石鳳祭実行委員会の学生が進行役となり、学部 ・学年の垣根を越えて、オンライン大学祭を楽しんだ。

ンド化を目指している。 杉田ゼミでは2017年 一を応援している。

こめぼこ商品化プロジェクト 協力で販売し、地域ブラ かまぼこ「こめぼこ」 校が考案した米粉入りの 信用金庫、楽天野球団の 巻北高校と宮城県水産高 同プロジェクトは、石 高橋徳治商店、石巻

杉田ゼミ

タジアムなどを建設する |活動に取り組んでおり、 体は、被災地にこどもス CT」に寄付した。同団 SMILE PROJE までの売り上げの一部を 意団体「TOHOKU 楽天野球団が設立した任 石巻専修大学もこの活動 稲刈りに先立ち、これ

オンラインで開催